

【資料 1】金利指標をめぐる各国および国際的な動向

—— シャドー部分は今後実施予定の事項

【英国】(WG 会合は 1～2 か月に 1 回程度開催)

2017 年	4 月	SONIA を RFR に特定
	7 月 27 日	FCA ベイリー長官が、2021 年末以降は、LIBOR 維持のためにパネル行にレート呈示を強制する権限の行使は行わない旨を表明
	11 月 24 日	FCA が、各通貨の LIBOR パネル行と交渉した結果、20 行が 2021 年末まで自主的にレートを呈示することに合意した旨を公表
2018 年	1 月	再編された WG が始動 — シ・ローンおよび債券に関する SG を新設
	3 月 14 日	FCA が、LIBOR のパネル行に対しレート呈示を強制する権限に関するポリシーペーパーを公表 — 代替指標への移行進捗により、2021 年末において同権限の行使は不要となるとの立場を表明
	3 月 17 日	IBA が、LIBOR のウォーターフォール構造 ^(注) に関する検証結果を公表
	3 月 28 日	WG 会合 — コミュニケーション・教育・アウトリーチおよび SONIA への移行状況を把握するための基準の構築に係る SG の新設を合意
	4 月 23 日	・ BOE が、SONIA 改革を完了 ・ LCH が、改革後の SONIA 参照 OIS を清算対象に指定
	4 月 25 日	IBA が、報告書 (ICE LIBOR Evolution) を公表 — LIBOR のウォーターフォール構造の導入完了時期を「2018 年中」→「2019 年第 1 四半期まで」に先送り — 2022 年末以降も LIBOR を存続させることを検討するが、全ての通貨・テナーを維持するとは限らない旨表明
	4 月 30 日	LSE が、SONIA を参照する 3 か月先物を上場
	6 月 1 日	ICE が、SONIA を参照する 3 か月先物を上場
	6 月 22 日	欧州投資銀行 (EIB) が、SONIA を参照する 5 年の変動利付債を発行
	7 月 17 日	WG が、SONIA を参照するターム物金利に関する市中協議文書を公表〔コメント期限：10 月 26 日〕 — ターム物金利は、OIS 市場の確約気配値を基に構築することが適当との WG の結論を提示
	7 月 23 日	WG が、LIBOR を参照する新発債に関するペーパーを公表 — 発行体・アレンジャー・投資家（債権者）が LIBOR を参照するポンド建ての新発債が抱える潜在的なリスクを認識し、必要な準備と対応策を講じることに資する観点から、標記ペーパーを公表

	7月25日	BOE が、SONIA の IOSCO 原則への適合状況に関する文書を公表
	8月20日	WG 会合 — 市場インフラに関する SG の設置について発表 — WG 議長および副議長が米国 ARRC 傘下に設置された Cross-Currency Basis Swap Subgroup に出席した旨を報告 — IASB 宛に、LIBOR からの移行に関する調査プロジェクトの立ち上げを歓迎し、移行に伴う会計上の問題に関して IASB と緊密に連携する旨を表明するレターを送付することについて合意
	9月19日	PRA と FCA が、主要な銀行および保険会社の経営陣に対して、LIBOR の公表停止によって生ずる主要なリスクの評価と代替指標への移行に向けた具体的な計画の策定を求めるレター（Dear CEO レター）を発出〔回答期限：12月14日〕
	9月21日	WG 会合 — 債券 SG が O/N SONIA 複利を参照するための市場慣行についての市中協議文書を起案中（シ・ローン SG も参加） — シ・ローン SG が 2021 年末以降に満期を迎える LIBOR 参照ローンを取引することに伴うリスクに関するペーパーを起案中
	10月1日	CME が、SONIA を参照する先物（Quarterly IMM/MPC）を上場
	10月10日	IBA が、先物金利を用いた SONIA に基づくターム物金利算出方法等に係る報告書を公表
	10月16日	WG が、新規のシ・ローン契約等における代替指標への移行を容易化するための条項の雛形（LMA 作成）を公表
	11月23日	WG が、SONIA を参照するターム物金利に関する市中協議の結果の概要を公表 — ターム物金利は、貸出等の一部商品については SONIA への移行を促す上で有用であるものの、デリバティブにおける利用については、SONIA を直接参照する OIS 取引等の減少に繋がらないよう制限されるべきとの意見が多数 — OIS 市場を基にターム物金利を構築する方向性は支持されたが、OIS 市場の参加者の増加・多様化による流動性向上が必要であるとの意見や、代替的手法として先物市場のデータを補完的に活用することを支持する意見が多数
	12月14日	ロイズ・バンキング・グループが、SONIA を参照する証券化商品（住宅ローン債権担保证券）を組成・販売
	12月20日	・インフラ・システムに関するワークストリームが、暫定的な優先順位リストを公表 ・LCH が、ISDA による IBOR フォールバック時における技術的な対応方針に関する市中協議の結果を踏まえた今後のデリバティブ商品の清算に係る方針について発表
	12月21日	WG が、新規および既存の貸出契約に関するペーパーを公表 — LIBOR を参照するポンド建ての新規および既存の貸出契約の関係者が、潜在的なリスクを認識し、必要な準備と対応策を講じることに資する観点から、標記ペーパーを公表
	12月24日	WG が、SONIA を参照するターム物金利に関する市中協議の結果を踏まえた今後のステップについて公表 — 現在のターム物 LIBOR 利用者の多くにとっては、キャッシュ商品を含め SONIA を直接参照する金利の方が、SONIA を参照するターム物金利より適切であるとし、ターム物金利の構築状況に拘らず、可能な限り LIBOR からの移行を進めることを勧奨
2019 年	1月31日	WG が、インフラに関するフォーラムを開催

3月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・WGが、IASBに発出したレターを公表 <ul style="list-style-type: none"> — IASBによる金利指標改革に伴う基準設定作業を歓迎し、IASBを支援する意思を表明するとともに、早期に作業を進めることを支持 ・WGが、SONIAを参照する新規契約の慣行に関するディスカッションペーパーを公表〔コメント期限：4月30日〕 <ul style="list-style-type: none"> — SONIA参照商品の市場慣行についての市場参加者の認識を向上させることを通じ、市場における流動性の分断を回避し、商品間のミスマッチを最小化するとともに、システム変更を後押しするため、標記ペーパーを公表
3月20日	<p>WG会合</p> <ul style="list-style-type: none"> — ターム物金利、規制上の依存、会計上の取扱い、および法的問題についてそれぞれTFが活動開始した旨を報告
5月15日	<p>BOEが、WGを代理して、ポンド市場におけるSONIAの利用の進捗に係る声明を公表</p> <ul style="list-style-type: none"> — FTSEラッセル、IBA、Refinitivの3社がSONIAを参照するターム物金利の構築に向けて取り組んでいる旨を記載
6月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・BOEおよびFCAが、パネルディスカッション形式のイベントを共同開催 ・PRAとFCAが、主要な銀行および保険会社の経営陣宛に発出したレター（Dear CEOレター）への対応について、テーマ別の結果を公表 <ul style="list-style-type: none"> — LIBORを利用する全ての企業に対して移行に向けた取組みを慫慂
6月11日	<p>Associated British Ports社の傘下企業が、一部の既発債の社債権者集会を開催し、当該社債の参照金利をLIBORからSONIAに切り替えることを決議</p>
6月27日	<p>BOEが、オペにおいて受け入れるLIBOR参照担保に対するリスク管理アプローチの市中協議文書を公表〔コメント期限：9月27日〕</p> <ul style="list-style-type: none"> — BOEハウザー理事の講演において、上記市中協議文書が紹介されるとともに、英国政府の外貨準備のヘッジにおいて期日が2021年末をまたぐLIBOR参照スワップの利用を停止する方針が決定された旨に言及
7月2日	<p>ナットウエストが、National Express社に対し、SONIA（後決め複利）を参照するローン商品を提供した旨を発表</p>
7月3日	<p>WG会合</p> <ul style="list-style-type: none"> — ターム物金利の利用場面について、詳細に評価 — ヘッジ会計上の論点についてIFRS9およびIAS39を改訂する公開草案に対して、IASB宛レターを発出した旨を報告
7月9日	<p>WGが、欧州保険・企業年金監督局（EIOPA）のChairmanに対して、保険負債の割引率をRFRベースに移行するために必要な規制対応を求めるレターを発出</p>
7月15日	<p>FCAのベイリー長官が、2021年以降のLIBOR公表停止をメインシナリオとして想定しておくべきと発言</p>
8月	<p>WGが、3月に公表した新規契約の慣行に関するディスカッションペーパーのコメントの取り纏め結果を公表。これと同時に、貸出の事務処理に関するワーキングペーパーを公表</p>
9月17日	<p>WGが、WGの検討内容および目的を達成できるようにサポートする組織として、シニア・アドバイザー・グループを設置</p>

		— WG に対して戦略的なサポートを行うと共に、企業の幹部クラスを SONIA への移行に積極的に関与させることを目指すもの
	10 月 23 日	WG が、規制上の論点について公的部門宛にレターを発出
	11 月	WG が、タフレガシーに係る問題、キャッシュ商品におけるレガシー契約の移行に係る問題、新規貸出における英ポンド LIBOR 使用停止に係る問題を検討する 3 つのタスクフォースを設立
	12 月	WG が、英ポンド LIBOR を参照するキャッシュ商品のフォールバックのスプレッド調整に関する市中協議を開始
	12 月 16 日	BOE が、金融システム政策委員会において、LIBOR 参照契約の残高を 2021 年末までに極力削減するために採りうる監督上のツールについて検討中である旨に言及
2020 年	1 月 16 日	IBA が、SONIA を参照する ICE Swap Rate に関する市中協議を開始（コメント期限：3 月 20 日）
	1 月 23 日	WG が、貸出管理システムおよび財務管理システムの提供事業者向けのワークショップを開催
	1 月 24・31 日	機関投資家セクターの実務担当者向けにラウンドテーブルを開催
	1 月	WG、BOE、および FCA が、2020 年の優先取り組み課題等を公表 <ul style="list-style-type: none"> — WG が 2020 年の優先取り組み課題およびロードマップを公表 — FCA と BOE (PRA) が、主要銀行、保険会社の幹部宛にレターを発出 — FCA と BOE が、3 月 2 日以降の新規の英ポンドの金利スワップに係る市場慣行の転換に関するステートメントを公表 — WG が、SONIA 複利・ターム SONIA・他の代替金利指標の使い分けに関するディスカッションペーパーを公表 — WG が、英ポンド LIBOR 参照のレガシー社債について、社債権者の同意取得による SONIA への移行に関する検討ペーパーを公表 — WG、BOE、FCA、ACT および CBI が、エンドユーザー向けのファクトシートを公表
	1 月 27 日	LCH が、ルールブックへの公表停止前トリガーの導入に関する市中協議を開始（3 月 23 日締切）
	1 月 28 日	WG 会合 <ul style="list-style-type: none"> — ターム物 SONIA のベータ版にかかるテストの実施予定等について議論
	2 月	WG が、スワップション、キャップ、フロア等のデリバティブ取引に携わる市場参加者に対するサーベイ結果を公表
	2 月 21 日	IBA が、SONIA を参照する ICE Swap Rate に関する追加の市中協議を開始（当初締切：4 月 6 日、延長後締切：5 月 22 日）
	2 月 26 日	・ BOE が、2020 年 7 月以降の SONIA compounded index の日次公表に関するディスカッションペーパーを公表 ・ BOE が、オペにおいて受け入れる LIBOR 参照担保の取扱いに関する Market Notice を公表 <ul style="list-style-type: none"> — 2020 年 10 月以降、2021 年末以降に満期を迎える LIBOR 参照担保について順次ヘアカット率を引き上げ、2021 年 12 月 31 日以降は 100%とすることを表明
	2 月 27 日	FCA が資産管理会社向けの Dear CEO レターを発出
	3 月 9 日	・ WG が、2 月 26 日公表の BOE の SONIA Compounded Index に関するディスカッションペーパーを支持するステートメントを公表 ・ WG の Loan Enablers Task Force が、LIBOR を参照する貸出の停止（20 年 3Q）に向けたロードマップを公表

	・BOE と FCA が、trade associations（事業法人）宛てに書面を発出。LIBOR からの移行が associations のメンバーやその債権者に与える影響や、必要な準備等を伝達
3 月 11 日	FCA が LIBOR の公表停止・代表性喪失に係る事前のアナウンス方法を公表
3 月 19 日	歳入関税庁（HMRC）が、LIBOR 移行の税金への影響に関する市中協議を開始（5/28 日締切）
3 月 23 日	WG が、英ポンド LIBOR を参照するキャッシュ商品のフォールバックのスプレッド調整に関する市中協議結果を公表 — 公表停止トリガー・公表停止前トリガーともに、過去 5 年のスプレッド中央値が支持
3 月 25 日	FCA・BOE・WG が連名で、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けたステートメントを公表 — LIBOR からの移行対応にあたり、2021 年末以降の LIBOR の公表継続を期待してはならず、期日を順守すべきであるとの大前提に変更はない旨表明
4 月 29 日	FCA・BOE・WG が連名で、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた追加のステートメントを公表 — 2020 年 3Q 末までとの新規発行停止の期限を設けていたキャッシュ商品のうち、貸出については、2021 年 1Q 末まで期限を延長することを表明
5 月 7 日	・BOE が、オペにおいて受け入れる LIBOR 参照担保の取扱いに関する Market Notice を公表 — 2021 年末以降に満期を迎える LIBOR 参照担保に関するヘアカット率の引き上げの開始時期を 2020 年 10 月から 2021 年 4 月に後ろ倒し（2021 年 12 月 31 日以降 100%とする点是不変） ・PRA と FCA が、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて停止していた LIBOR 移行対応にかかるデータ徴求や監督先との面談について、6 月以降、監督業務を再開する方針を公表
5 月 29 日	WG が、2021 年末までの移行やフォールバック対応が困難な既存契約（タフレガシー）にかかる課題に関するペーパーを公表
6 月 23 日	WG 会合
6 月 23 日	英国政府および FCA が、LIBOR からの移行対応にかかる立法措置に関するステートメントを公表
6～7 月	FTSE Russell、ICE および Refinitiv が、SONIA を参照するターム物金利の参考値の公表を開始
8 月 3 日	BOE が、SONIA Compounded Index の日次公表を開始
9 月 1 日	WG が、貸出において推奨する SONIA 複利（後決め）のコンベンションを公表
9 月 10 日	WG が、貸出および債券におけるスプレッド調整に関する推奨内容を正式公表
9 月 16 日	WG 会合
9 月 28 日	FCA と BOE が、インターディーラー間の金利スワップ市場における市場慣行として、2020 年 10 月 27 日より、SONIA ベースの気配値呈示に移行するよう求めるステートメントを公表
10 月 2 日	IBA が、SONIA を参照する ICE Swap Rate（ベータ版）の公表を開始
10 月 9 日	FCA・BOE・WG が連名で、10/9 日付の ISDA 声明（プロトコル等について、10 月 23 日に批准を開始し、2021 年 1 月 25 日に発効す

		る旨を公表) を支持するステートメントを公表
	10 月 21 日	英国政府は、LIBOR からの移行対応にかかる立法措置に関する法案を国会に提出
	11 月 12 日	WG 会合
	11 月 18 日	・ IBA が、4 通貨 LIBOR (英ポンド、ユーロ、瑞フラン、円) の公表を 2021 年末以降停止する方針につき市中協議を行う旨を公表 ・ FCA が、シンセティック LIBOR 構築の取り扱いに関する権限行使の方針案および市中協議の実施について公表
	11 月 26 日	WG が、非線形デリバティブの LIBOR 移行対応に関するペーパーを公表
	11 月 30 日	・ IBA が、米ドル LIBOR の公表停止にかかる方針案を公表するとともに、市中協議を行う意図を表明 ・ FCA が、米ドル LIBOR に関する ICE および米監督当局の方針を歓迎・支持するステートメントを公表
	12 月 4 日	IBA が、米ドルの一部テナーを除き、パネル LIBOR については、2021 年 12 月末をもって公表を停止することについて、市中協議を開始
	12 月 9 日	WG 会合
	12 月 14 日	IBA が、SONIA を参照する ICE Swap Rate の公表を開始
	12 月 15 日	LCH が、LIBOR を参照する金利スワップについて標準 OIS への転換に係る市中協議を開始
	12 月 17 日	WG が、システム開発ベンダー向けに、LIBOR 移行対応への協力を要請するレターを発出
	12 月	WG が、LIBOR 移行時のスプレッド調整に関するペーパーを公表
2021 年	1 月 6 日	WG が、Bloomberg に対して、Bloomberg 公表のスプレッド調整値の利用に関する要望レターを発出
	1 月 11 日	・ IBA および Refinitiv が、SONIA を参照するターム物金利の確定値の公表を開始 ・ FCA が、早期の LIBOR 移行対応を求めるステートメントを公表
	1 月 21 日	PRA が、LIBOR から SONIA への移行等を論点として、ソルベンシー II に関する市中協議を開始
	1 月 26 日	WG 会合
	2 月 3 日	WG が、LIBOR 参照債券の後継金利に関する市中協議を開始
	2 月 15 日	英国政府が、シンセティック LIBOR の適用にかかるセーフハーバーの導入について、市中協議を開始 (コメント期限: 2021 年 3 月 15 日)
	2 月 16 日	LCH が、LIBOR を参照する金利スワップについて標準 OIS への転換に係る市中協議の取り纏め結果を公表
	2 月 23 日	WG 会合
	2 月	WG が、LIBOR を参照する ICE Swap Rate からの移行対応に関するペーパーを公表
	3 月 1 日	・ FICC Markets Standards Board (FMSB) が、SONIA を参照するターム物金利の利用に関して、意見募集ペーパーを公表 ・ FCA と BOE が、上記 FMSB ペーパーの公表を歓迎するステートメントを公表
	3 月 3 日	IBA が、SONIA Index の参考値の公表を開始

3月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・ IBA が、米ドルの一部テナーを除き、パネル LIBOR については、2021 年 12 月末をもって公表を停止する旨を公表 ・ FCA が、シンセティック LIBOR を構築するための権限を行使することについて市中協議を行う意図を表明
3月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ PRA と FCA が、主要な銀行および保険会社の経営陣に対して、LIBOR 移行対応に関するレターを発出 ・ WG が、LIBOR 参照債券の後継金利に関する市中協議の結果を公表
3月30日	WG 会合
1Q	期日が 2021 年末を超える新規の英ポンド LIBOR 参照商品（貸出、債券、証券化商品、線形デリバティブ）の実行を停止
4月13日	IBA が、SONIA Index の確定値の公表を開始
4月19日	WG が、仕組債の LIBOR 移行に関するペーパーを公表
4月21日	WG が、英国財務省による市中協議が実施されたセーフハーバーの導入に関して、英国政府にレターを提出
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ WG が、市場参加者に対して、英ポンド LIBOR を参照する既存契約における SONIA への事前移行を促す声明を公表 ・ WG が、ISDA による IBOR フォールバックに依拠するデリバティブ市場参加者向けに、非清算集中の英ポンド LIBOR を参照する線形デリバティブのフォールバック開始に向けた検討事項等を公表
5月5日	IBA が、SONIA を参照する Spread-Adjusted ICE Swap Rate（ベータ版）の日次公表を開始
5月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・ BOE ベイリー総裁スピーチ <ul style="list-style-type: none"> — 頑健な 0/N 物 RFR の利用がより弾力的で透明性のある金融システムの実現に資する旨を発言 ・ WG 会合
5月13日	FCA と BOE が、英ポンド建上場デリバティブ市場における標準取引について、6 月 17 日以降、英ポンド LIBOR ベースから SONIA ベースに切り替えることを支持・推奨する旨を公表
5月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ FCA が、シンセティック LIBOR の公表に関する権限行使に当たって考慮すべき事項に関する市中協議を開始 ・ BOE が、金利指標改革を踏まえた清算集中義務に関する技術基準の改訂に係る市中協議を開始
5月	WG が、3 月 26 日に公表した LIBOR 参照債券の後継金利に関する市中協議の結果を踏まえ、債券契約のフォールバックに関して、英ポンド LIBOR に代わる金利指標として SONIA 複利（後決め）を推奨する旨を表明
6月9日	WG 会合
6月16日	FCA と BOE が、米ドル金利スワップ市場における米ドル LIBOR から SOFR への切り替え（SOFR First）に関して、支持・推奨するステートメントを公表
6月24日	FCA が、英ポンドおよび円 LIBOR の 6 つのテナーを対象とするシンセティック LIBOR の公表に対する FCA の権限行使に関する市中協議を開始
2Q	期日が 2021 年末を超える新規の英ポンド LIBOR 参照商品（非線形デリバティブ）の実行を停止
7月6日	WG 会合

7月9日	WGが、英ポンドLIBORを参照する既存貸出契約の事前移行に関する借り手向けのタイムラインと留意点を公表
7月14日	FCAが、デリバティブ取引義務（DT0）の対象範囲を見直すための市中協議を開始
7月21日	FCAとBOEが、2021年9月21日以降の、通貨スワップ市場におけるRFRベースへの切り替えを支持するステートメントを公表
8月4日	IBAが、英ポンドLIBORを参照するICE Swap Rateの公表停止に関する市中協議結果を公表
9月8日	英国政府が、英国財務省が実施したセーフハーバー導入に関する市中協議において指摘された内容を踏まえ、議会で法案を提出
9月15日	WG会合
9月21日	IBAが、TONA、SOFR、ESTRの複利ベンチマーク（ICE Risk Free Rate <RFR> Indexes）の公表を開始
9月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・FCAが、シンセティックLIBORの構築等に関する一連の文書を公表 <ul style="list-style-type: none"> — 英ポンドおよび日本円の一部テナーについて、2022年1月以降の一定期間（円は1年間）、シンセティックLIBORの計算・公表をIBAに対して求めることを決定 — FCAの監督対象機関に対し、シンセティックLIBORの利用を認める範囲や、2021年以降にドルLIBORの新規利用を原則禁止することに関して、市中協議を開始（併せて、シンセティックLIBORの公表に関する権限行使に当たって考慮すべき事項に関する市中協議<2021年5月実施>のFeedback Statementを公表） ・BOEが、金利指標改革を踏まえた、清算集中義務に関する技術基準の改訂に係る市中協議（2021年5月実施）の結果を公表 ・BOEが、清算義務対象に関する技術基準にTONAを追加することについての市中協議を開始
10月6日	IBAが、USD SOFR ICE Swap RateとUSD SOFR Spread-Adjusted ICE Swap Rate（どちらもベータ版）の公表を開始
10月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・FCAが、LIBORと英国ベンチマーク規制のもとでのFCAの権限に係るFAQを公表 ・FCAが、デリバティブ取引義務（DT0）の対象範囲を見直すための市中協議（2021年7月実施）の結果を公表
11月8日	IBAが、USD SOFR ICE Swap Rateの確定値を公表
11月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・FCAが、シンセティックLIBORの利用を認める範囲や、米ドルLIBORの新規利用を原則禁止することについての市中協議（2021年9月実施）の結果を踏まえて、決定・公表 <ul style="list-style-type: none"> — FCAは、監督対象機関に対して、清算集中デリバティブを除く、本年末までに移行が完了しない既存契約の全てについて、シンセティックLIBORの利用を認める — 但し、シンセティックLIBORは、市場の代表性を有さず、公表期間が限定。シンセティックLIBORに依存せず、代替金利指標移行のための積極的な取り組みを継続すべき — FCAとPRAは、監督対象機関の移行対応の取り組みを継続的にモニタリングする — 米ドルLIBORの一部テナーについて、監督対象機関に対し、米国の方針に沿って、2021年末以降の新規利用を、一部の例外を除いて禁止 ・FCAが、英ポンドおよび日本円LIBORの6つのテナーを対象とするシンセティックLIBORの公表に対するFCAの権限行使に関する市中協議（2021年6月実施）のFeedback Statementを公表

	11月19日	IBA が、LIBOR 公表停止やシンセティック LIBOR への対応に関するリリースを公表
	11月24日	WG 会合 — 議長が、移行対応に関する新たな問題が生じないことを前提に、現行の枠組みでの WG 会合は 2022 年 1 月をもって終了したうえで会議体を再編するとの方針を提案 — 今後、再編後の WG においてどのような作業を実施するかを検討
	12月2日	WG が、英ポンド LIBOR 公表停止まで残り 1 か月を切ったことを受け、移行対応を促す声明を公表
	12月3日	BOE が、清算義務対象に関する技術基準に TONA を追加することについての市中協議（2021 年 9 月実施）の結果を公表
	12月4日	LCH が、ユーロ LIBOR、瑞フラン LIBOR および日本円 LIBOR を参照する金利スワップについて、OIS への一括変換を実施
	12月8日	FCA 高官スピーチ — 英ポンドの新規取引は SONIA へ移行しているほか、英ポンド LIBOR を参照するレガシー契約の大半についても、2021 年末までに移行対応が完了する見込み — 移行対応が完了していない一部の企業は、取り組みを進める必要がある
	12月10日	FCA が、シンセティック LIBOR の利用を認める範囲や、2021 年末以降に米ドル LIBOR の新規利用を原則禁止することに関する市中協議（2021 年 9 月実施）に対する Feedback Statement 等を公表
	12月15日	英国政府が議会に提出（2021 年 9 月）していたセーフハーバー導入に係る法律（Critical Benchmarks Bill）が施行
	12月18日	LCH が、英ポンド LIBOR を参照する金利スワップについて、OIS への一括変換を実施
	12月22日	IBA が、SONIA を参照する Spread-Adjusted ICE Swap Rate の確定値を 2022 年 1 月 4 日から公表開始する旨を公表
	年末	米ドルの一部テナーを除き、パネル LIBOR が公表停止
2022 年	1月1日	FCA が、シンセティック LIBOR の公表に対する FCA の権限行使とシンセティック LIBOR の利用を認める範囲について、最終決定を公表
	1月4日	・英ポンドおよび日本円の一部テナーについて、シンセティック LIBOR が公表開始 ・FCA が、2022 年入り後以降に LIBOR に生じる変更点に関する声明を公表 ・IBA が、SONIA を参照する Spread-Adjusted ICE Swap Rate の確定値を公表開始
	1月12日	PRA が、2022 年の監督上の優先事項として Dear CEO レターを発出 — LIBOR 参照契約の移行に向けた努力の継続等を求めるほか、FCA とともにシンセティック LIBOR の利用を含む LIBOR への依存の解消に向けた取り組みをモニタリングしていく方針を表明 — Credit Sensitive Rate (CSR) の利用を検討する場合には、リスクの慎重な評価および監督当局への事前報告を要請
	2月9日	BOE・FCA・WG が、LIBOR 移行の最終化に向けた共同声明を公表 — 英ポンド市場は、LIBOR 移行を予定通りかつ最小限の混乱で乗り切った — FCA は、今後、①1 か月・6 か月物のシンセティック LIBOR（英ポンド）の 2022 年末での廃止と、②3 か月物のシンセティ

		<p>ック LIBOR（同）の廃止時期について、意見募集を行う予定</p> <ul style="list-style-type: none"> — 米ドル LIBOR の移行に関しても、監督当局は引き続き監督対象機関の移行進捗状況をモニタリングする — 本年 1 月の WG 会合において、WG の目標（英ポンド建てのデリバティブ、融資、債券市場全体で、SONIA への広範な移行を促進する）は達成されたと結論付けられたことを紹介。今後の WG の活動について、LIBOR 移行の完結には、シンセティック LIBOR 参照契約の代替金利指標への移行のサポートや、英ポンド以外の通貨の LIBOR の移行対応が英国市場に及ぼす影響の検討が必要であるとして、活動目的を変更のうえ、再編した会議体（in an amended form）において活動を続けることを言及
--	--	---

（注）より実取引に依拠したレートであることを確保するため、呈示レートの決定根拠について優先順位を設け、順位の高いものから使用していく手法。

LIBOR では、実取引（レベル 1）、実取引に基づく推計値（レベル 2）、専門家判断（レベル 3）の 3 段階でレートを決定。

【EU】（WG 会合は 2 か月に 1 回程度開催）

2018 年	2 月 2 日	WG 設置を公表
	2 月	EMMI が、EONIA の改革を断念
	3 月 15 日	ECB が、無担保翌日物金利（€STR）の第二次市中協議文書を公表〔コメント期限：4 月 20 日〕
	3 月 26 日	EMMI が、EURIBOR のハイブリッド方式に係る第一次市中協議文書を公表〔コメント期限：5 月 15 日〕
	5 月	ECB が、€STR の第二次市中協議に係る結果を取りまとめ
	6 月 21 日	WG が、RFR の候補に係る市中協議文書を公表〔コメント期限：7 月 13 日〕 — 候補は、①€STR、②GC レポレート（GC Pooling Deferred）、③レポレート（RepoFunds Rate）
	6 月 28 日	EMMI が、EURIBOR のハイブリッド方式に係る第一次市中協議の結果を公表
	7 月 11 日	WG 会合 — EONIA からの移行に係る SG の設置を決定
	8 月	RFR の候補に係る市中協議で寄せられたコメントについて公表 — 66 の回答先のうち、58 が€STR が RFR として最適と回答
	9 月 13 日	WG 会合 — €STR を RFR に特定 — SG が、RFR に基づくターム物金利の選択肢のプロコンを整理
	10 月 17 日	EMMI が、EURIBOR のハイブリッド方式に係る第二次市中協議文書を公表〔コメント期限：11 月 30 日〕
	10 月 18 日	WG 会合 — WG が、EU 共同立法者に対し、クリティカルベンチマークに関して、EU ベンチマーク規則上の移行期限を 2 年間延長すること等を要望した旨報告 — ターム物金利につき、市中協議の実施に向け、検討の焦点を OIS の気配値ベースと先物ベースに絞ることを決定 — Composite 手法（取引量が閾値以上の場合は、当該実取引を、それ未満の場合は、気配値をデータとして参照する手法）について追加分析することを決定
	11 月 9 日	WG が、アウトリーチのためのラウンドテーブルを開催
	12 月 3 日	EMMI が、EURIBOR の 2W、2M、9M のテナーを廃止（6 月 6 日発表）
	12 月 19 日	・ WG が、EURIBOR のフォールバックとなるターム物€STR の構築に関する市中協議文書を公表〔コメント期限：2 月 1 日〕 — ターム物金利の構築手法としては、OIS 市場の確約気配値に基づく手法が最も妥当である可能性が高いとの結論を提示 ・ WG が、EONIA から€STR への移行に関するレポートを公表〔コメント期限：2 月 1 日〕
2019 年	1 月 21 日	WG が、ユーロ建キャッシュ商品の新規契約に設定するフォールバック条項について、ガイディングプリンシプルを公表

	— 恒久的なトリガー事由の設定、後継金利としての€STR の利用と調整スプレッドの導入、将来的な契約改定を簡便化する条項の導入、商品間の整合性確保等について提案
2 月 12 日	EMMI が、EURIBOR のハイブリッド方式に係る第二次市中協議へのコメントの概要を公表
2 月 25 日	欧州議会と加盟国が、EU ベンチマーク規則上における①EU 域内のクリティカルベンチマークの算出者および②第三国の金融指標に関する規定については、移行期限を 2020 年 1 月 1 日→2021 年 12 月 31 日に延長することを政治合意した旨、欧州委より発表 — 当局権限によるクリティカルベンチマークの呈示強制が可能な期間についても、2 年間から 5 年間に延長
3 月 14 日	WG が、①EONIA から€STR への移行、および、②EURIBOR のフォールバックとなるターム物€STR の構築手法について、勧告を公表 — ターム物€STR の構築について、OIS 市場の確約気配値に基づく手法によることを勧告
3 月 19 日	欧州委が、シンガポールとオーストラリアの金融指標に係る法制度・監督について、EU ベンチマーク規則に基づき、同等性評価を下す旨の決定文書案を公表〔コメント期限：4 月 16 日〕
3 月 20 日	EMMI が、WG の勧告に基づき、€STR への移行に伴う EONIA の調整に関する市中協議を実施〔コメント期限：4 月 15 日〕
5 月 6 日	・ EMMI が、ベルギー当局（FSMA）に対し、EU ベンチマーク規則に基づき、ハイブリッド方式を用いた EURIBOR の運営者として認可を申請 ・ EURIBOR のパネル行が、ハイブリッド方式への移行を開始
5 月 10 日	WG 会合 — WG が、IASB 宛に EONIA から€STR への移行に係る固有の論点を取り上げたレターを発出することを合意
5 月 13 日	WG の傘下に、キャッシュ商品とデリバティブ、財務会計とリスク管理、およびコミュニケーションと教育について、SG を新設 — 既存の SG についても併せて改廃
5 月 15 日	WG が、EONIA から€STR への移行に係る法的アクションプランを公表〔コメント期限：6 月 12 日〕
5 月 31 日	・ EMMI が、€STR への移行に伴う EONIA の調整に関する市中協議に対する意見の概要および実施の詳細を公表 ・ ECB が、WG の勧告に沿って、€STR への移行に伴う EONIA の調整スプレッドを、過去 1 年間の EONIA と€STR の参考値（pre-€STR）との平均スプレッドに基づき、0.085%と算出した旨を公表
6 月 27 日	WG が、EONIA から€STR への移行に係る法的アクションプランに係る市中協議に寄せられたコメントを公表
7 月 2 日	FSMA が、EURIBOR の運営について、EMMI に対してクリティカルベンチマークの運営者としての認可を付与
7 月 3 日	ECB が主要な銀行の CEO 宛にレター（Dear CEO レター）を発出し、2021 年末までの円滑な移行に向けて準備を進めることを勧告
7 月 4 日	ESMA が、EURIBOR につき EU ベンチマーク規則への適合性を認定した旨を公表
7 月 10 日	WG が、€STR に基づくターム物の構築に関心を有する指標運営機関の募集を開始
7 月 15 日	WG が、IASB に対して欧州の金利指標改革に係る会計上の論点について検討を求めるレターを発出
7 月 16 日	WG が、EONIA から€STR への移行に係る法的アクションプランの勧告を公表
7 月 17 日	EMMI が EURIBOR に関する Benchmark Statement を公表

	7月24日	EMMI が EONIA の公表時刻を 9:15 にすることを確定
	8月19日	EONIA から€STR への移行がキャッシュ商品とデリバティブに与える影響について報告したレポートを公表
	9月25日	WG が、アウトリーチのためのラウンドテーブル（第 2 回）を開催
	10月2日	・ ECB が、€STR の日次公表を開始 ・ EONIA が、€STR+スプレッド調整値の形に調整
	10月11日	欧州委員会が、欧州ベンチマーク規則の見直しにかかる市中協議を開始
	10月16日	WG 会合 — ターム物€STR の算出・公表の希望先 4 社（EMMI, FTSE Russel, IBA, Refinitiv）がプレゼンテーションを実施
	10月17日	WG が、EONIA から€STR への移行および€STR に基づくフォールバック条項の導入によるリスク管理上の影響に関する報告書を公表
	11月5日	WG が、EONIA から€STR への移行および€STR に基づくフォールバック条項の導入による財務会計上の影響に関する報告書を公表
	11月6日	WG が、EURIBOR を参照するキャッシュ商品およびデリバティブ商品に係るフォールバック条項に関するハイレベルな勧告を公表
	11月12日	WG が、€STR のフォールバック対応に関する報告書を公表
	11月28日	EMMI が、EURIBOR の改革を完了
	12月4日	WG 会合 — WG の今後の検討事項について議論
	12月11日	FSMA が、EONIA の運営について、EMMI に対してクリティカルベンチマークの運営者としての認可を付与
2020 年	1月15日	国際会計基準にかかる規則の改正規則が成立 — 2019 年 9 月に IASB が最終化した改訂基準を取り込むもの
	2月6日	EIOPA が、IBOR 移行と Credit Rate Adjustment (CRA) の影響に言及するディスカッション・ペーパーを公表（コメント期限 4 月 30 日）
	2月19日	WG が、EONIA から€STR への円滑な移行のための推奨事項をまとめた報告書を公表 — 2019 年 9 月に公表した報告書において議論した論点について明確化を図ったもの
	2月27日	WG 会合 — EURIBOR のフォールバック対応に関する今後の進め方等について議論
	3月13日	WG が、清算機関のディスカウント・レートが EONIA から€STR に移行することにより影響を受けるスワップションに関する市中協議を開始（コメント期限 4/17 日）
	4月7日	WG 臨時会合 — 新型コロナウイルスの感染拡大が今後のタイムラインにもたらす影響について議論
	4月17日	EUREX Clearing および LCH が、EONIA から€STR へのディスカウント・レートの切り替え時期を 6 月 22 日から 7 月 27 日に延期することを公表

	4月20日	CME が、EONIA から€STR へのディスカウント・レートの切り替え時期を6月19日から7月24日に延期することを公表
	4月21日	WG 会合 — EURIBOR のフォールバックにかかる最終勧告の公表時期を、2020 年夏から 2021 年初めに後ろ倒しすることにつき合意
	5月4日	WG が、清算機関のディスカウント・レートが EONIA から€STR に移行することにより影響を受けるスワップションに関する市中協議結果を公表 — ディスカウント・レートの変更に伴うスワップションの時価変更につき、相対で任意調整を行うべきとの推奨内容を支持する意見が多かった
	6月16日	WG が、清算機関のディスカウント・レートが EONIA から€STR に移行することにより影響を受けるスワップションに関する勧告を公表 — ディスカウント・レートの変更に伴うスワップションの時価変更につき相対で任意調整を行うこと、および、カウンターパートと早期にコンタクトを取り、方針を決定することを推奨
	7月2日	WG 会合 — ターム物€STR の算出・公表を予定する 4 社（EMMI/IBA, FTSE Russel, Refinitiv, IHS Markit）の算出方法やガバナンス体制等に関する検討状況について報告
	7月23日	ECB が、金利指標改革にかかる金融機関の準備状況に関する調査結果、および金利指標改革に備えるためのグッドプラクティスを公表
	7月24日	ECB が、€STR 複利レートの公表等に関する市中協議を開始（回答期限：9月11日）
	7月24日	欧州委員会が、重要なベンチマークが廃止等された場合に EU 圏の金融安定性を維持することを目的として、EU ベンチマーク規則の改正を提案
	9月10日	WG 会合 — EURIBOR 参照商品のフォールバックに関する市中協議の内容等について議論
	9月30日	ECB が、€STR に関する IOSCO 原則の遵守状況にかかる声明を公表
	10月7日	・ ECB が、€STR 複利レートの公表等に関する市中協議について、回答結果のサマリーを公表 ・ 欧州理事会が、欧州委員会による EU ベンチマーク規則の改正案を承認
	10月14日	WG 会合 — EURIBOR 参照商品のフォールバックに関する市中協議の内容等について議論
	11月23日	・ WG が、EURIBOR 参照商品のフォールバックに関する市中協議を開始（回答期限：2021 年 1 月 15 日） ・ WG・ECB・ESMA・EC・FSMA が連名で、ISDA プロトコルの批准を推奨するステートメントを公表
	11月30日	EU ベンチマーク規則の改正案について、欧州議会と欧州理事会が合意
2021 年	2月12日	・ EU ベンチマーク規則の改正案が成立し、翌日（13 日）より発効

	・ EMMI が、新規契約（特に、調整後の EONIA が公表停止となる 2022 年 1 月 3 日以降に満期を迎えるもの）について、€STR の利用を推奨するステートメントを公表
2 月 15 日	WG が、EURIBOR 参照商品のフォールバックに関する市中協議について、結果を公表
2 月 18 日	WG 会合 — EURIBOR 参照商品のフォールバックに関する市中協議結果を踏まえ、今後の進め方等について議論 — ターム物€STR 構築にかかる進捗について、EMMI/IBA、および Refinitiv より報告
3 月 11 日	EUREX Clearing が、LIBOR を参照する金利スワップについて、標準 OIS への転換を実施するとの方針を公表
3 月 23 日	欧州委員会が、頑健なフォールバック条項が盛り込まれていない一定の既存契約を対象として、瑞フラン LIBOR（3 か月物）の代替金利指標を法定する権限を行使することについて、市中協議を開始（回答期限：5 月 18 日）
3 月 31 日	WG 会合 — EURIBOR 参照商品のフォールバックに関する市中協議結果を踏まえ、推奨事項について議論 — ECB が、Compounded €STR Average、Index の公表（4 月 15 日）について説明
4 月 15 日	ECB が、Compounded €STR Average、Index の公表を開始
5 月 11 日	WG 会合 — EURIBOR 参照商品のフォールバック・トリガーイベントおよびフォールバック・レートに関する推奨事項について決議し、同日公表
7 月 1 日	WG 会合 — RFR スワップ取引の慣行を EONIA から€STR へ変更するベストプラクティス（いわゆる「€STR ファースト」）の導入について議論
7 月 9 日	ESMA が、ベンチマークの移行を踏まえたデリバティブの清算集中および取引義務に関する市中協議を開始
7 月 26 日	WG が、ディーラー間市場における RFR への移行を勧告 — インターディーラーブローカーに対して、2021 年 10 月 18 日以降、「€STR ファースト」を推奨。また、同市場における通貨スワップの米ドル・英ポンド・スイスフラン・日本円のレグについても、9 月 21 日以降、RFR に切り替える推奨を支持および勧告
8 月 3 日	欧州委員会が、EONIA の代替金利指標の法定化に関する市中協議を開始
9 月 29 日	WG 会合 — EONIA の公表停止に向けたプロセスが順調に進捗している旨、報告
11 月 16 日	WG が、英 FCA によるシンセティック LIBOR 関連の公表を受けて、改めて市場参加者が積極的にリスク・フリー・レートに移行することの重要性および英ポンド LIBOR・日本円 LIBOR の代替金利指標の法定化に向けた検討への期待を表明したレターを、欧州委員会宛てに発出

	12月3日	WG 会合 — WG の今後の活動内容に関する作業計画について議論 — 英ポンド LIBOR・日本円 LIBOR の代替金利指標の法定化に向け、その支援のために WG として取り組むべき作業について議論 — 2021 年末以降の米ドル LIBOR 参照新規契約に関し、EU におけるガイダンス策定の必要性について議論
	12月3日	EUREX Clearing が、瑞フラン LIBOR および日本円 LIBOR を参照する金利スワップについて、OIS への一括変換を実施
	12月9日	WG が、米 CFTC による SOFR ファースト（12月13日以降、新規通貨スワップ取引の参照金利を SOFR に移行）を支持するステートメントを公表
	12月13日	WG が、年末の LIBOR 公表停止に向けて LIBOR を参照する新規取引の停止を呼びかけるリマインド・ステートメントを公表
	12月17日	EUREX Clearing が、英ポンド LIBOR を参照する金利スワップについて、OIS への一括変換を実施
	年末	・ 米ドルの一部テナーを除き、パネル LIBOR が公表停止 ・ EU ベンチマーク規則上の移行期限（EU 域内のクリティカルベンチマークの算出者が対象）
2022 年	1月1日	瑞フラン LIBOR の代替金利指標として、SARON 複利＋スプレッド調整値を法定する規則を施行
	1月3日	・ 調整後の EONIA が公表停止 ・ EONIA の代替金利指標として、€STR＋スプレッド調整値を法定する規則を施行
2023 年	年末	EU ベンチマーク規則上の移行期限（第三国の金融指標に関する規定が対象）

【スイス】(WG 会合は年に 3 回程度開催)

2017 年	10 月 5 日	WG 会合 — SARON を RFR に特定
	10 月 9 日	Eurex Clearing が、SARON 参照 OIS を清算対象に指定
	10 月 16 日	LCH が、SARON 参照 OIS を清算対象に指定
2018 年	1 月 11 日	WG 会合 — デリバティブ・債券、および、ローン・デポジットに係るサブ WG を設置
	6 月 4 日	WG 会合 — SARON を参照する先物として 3 か月物を提言することを決定 — SARON を参照するターム物金利に係る望ましい構築方法とその理由について、全市場参加者から意見を募集〔回答期限：7 月 31 日〕
	6 月 22 日	・ WG が、3 か月物 SARON 先物に係るタームシートの推奨例を公表 ・ WG が、スイスの事業法人向けのアウトリーチのための文書（アンケート調査を含む）を公表〔回答期限：9 月 30 日〕
	10 月 29 日	Eurex が、SARON を参照する 3 か月先物を上場
	10 月 31 日	WG 会合 — 現在の市場の状況等に鑑み、SARON を参照する先物や OIS 市場に基づいて頑健なターム物金利を構築することは現状では困難と判断し、可能な限り SARON 複利をターム物金利として利用することを推奨することを決定（但し、WG は SARON デリバティブ市場の発展を注視し、将来的に状況が変化した場合には、デリバティブを用いたレートをフォールバックとするかを再検討する可能性） — 新規のリテール貸出に係るフォールバック条項の雛形について議論
	11 月 14 日	LIBOR から SARON への移行のための実務体制に関する市場参加者向けチェックリストを公表し、意見を随時募集
	12 月 17 日	FINMA が、監督対象の金融機関向けのガイダンスを公表し、LIBOR の移行に関するリスクの洗い出し状況について 2019 年 1 月以降ヒアリングを実施するほか、ストレステストで用いる金利指標を LIBOR から変更する方針であると発表
2019 年	2 月 5 日	WG 会合 — キャッシュ商品における SARON 複利の利用のためのオプションについて議論。ローン・デポジットに係るサブ WG では、キャッシュフローの確定性に応じて「前決め」か「後決め」かについて好ましい選択がなされるとの見解が示されたほか、債券・デリバティブに係るサブ WG では、SARON 参照の変動利付債の発行に障害はないと結論付けた旨を報告
	4 月	SARON の運営機関である SIX(スイス証券取引所)が、各テナーの SARON 複利レートの参考値と自動計算機能を公表
	6 月 13 日	・ スイス中銀 (SNB) が、LIBOR の公表停止リスクを踏まえ、従来の 3 か月物 LIBOR 誘導目標レンジに代わり、新たに「SNB 政策金利 (SNB policy rate)」を導入

		<ul style="list-style-type: none"> — 金融政策運営において、スイスの RFR (SARON) に代表される短期市場金利を、SNB 政策金利に近い水準に維持する意向を表明 ・ WG 会合 <ul style="list-style-type: none"> — SARON 複利の更なる認知度向上のため、SIX に対し、SARON 複利の幾つかのテナーを提供するよう推奨すること等について、メンバー間で合意
	7 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ WG が、SARON を参照する変動利付債に関するディスカッションペーパーを公表 <ul style="list-style-type: none"> — SARON の後決め複利を利用する際、金利の参照期間と計算期間の日数を一致させ、金利の参照期間を 5 営業日前にスライドする Lookback 方式を利用することの利点が大きいと結論付け ・ WG が、金利指標改革が財務報告に与える影響について整理した文書を公表
	11 月 12 日	WG が、個人向けローンにおいて SARON の後決め複利を利用する際の選択肢に関する追加のガイダンスを公表
2020 年	1 月 21 日	スウェーデン監督当局が、SARON について、欧州ベンチマーク規則の第三国指標としての適合性を認定
	3 月 20 日	FINMA がデリバティブの移行対応等にかかるガイダンスを公表
	3 月 25 日	SIX が、SARON Compound Indices の公表を開始
	5 月 7 日	WG 会合 <ul style="list-style-type: none"> — FINMA が 2 回目の Dear CEO レターを発出した旨を報告 — シ・ローンの後決め複利の算出方法について、5 日間の Lookback 方式を推奨
	9 月 29 日	WG 会合 <ul style="list-style-type: none"> — FINMA より、LIBOR エクスポージャーに関する調査結果を報告 — 後決め複利の算出方法として Lookback 方式を利用するにあたって、具体的な算出方法やフロアの取扱いについて議論
	10 月 16 日	FINMA がデリバティブの移行対応について、ISDA プロトコルへの早期の批准を推奨するとのガイダンスを公表
	12 月 4 日	FINMA が LIBOR 移行に関するロードマップを公表
2021 年	2 月 1 日	WG 会合 <ul style="list-style-type: none"> — FINMA より、LIBOR エクスポージャーに関する調査結果のアップデート — ハイブリッド債、スワップ市場等の移行対応について議論
	7 月 1 日	WG 会合 <ul style="list-style-type: none"> — SARON 複利の利用に関し、前決め複利についても選択肢として検討することについて議論 — 2021 年 9 月 21 日以降の、通貨スワップ市場における RFR への切り替えを支持 — FINMA より、LIBOR エクスポージャーに関する調査結果を報告

	11 月 10 日	WG 会合 — FINMA より、LIBOR エクスపోージャーに関する調査結果のアップデートとして、SARON への移行対応が順調に進捗しており、2021 年末までにすべて完了することを期待する旨、報告 — SARON への移行が順調であることをもって、2022 年 1Q を目途に WG およびサブグループは解散する予定
	年末	米ドルの一部テナーを除き、パネル LIBOR が公表停止

【米国】（ARRC 再編＜18/3 月＞後は、ARRC 会合は月に 1 回程度開催）

2017 年	6 月 22 日	ARRC 会合 — SOFR を RFR として特定
	8 月 1 日	ARRC 会合 — 新たなサブグループ（WG）設置の必要性について議論
	9 月 29 日	ARRC 会合 — 5 つの WG（市場構造、規制、ターム物金利構築、商品別、法務）を設置
	10 月 31 日	ARRC 会合 — 移行計画（Paced Transition Plan）について合意され、会計・税制に関する WG 設置がされたほか、ARRC 再編についても議論が行われた
	11 月 2 日	ARRC が、ラウンドテーブルを開催
2018 年	2 月 20 日	FASB が、ヘッジ会計目的のベンチマーク金利として SOFR に基づく OIS 金利を追加する案について、市中協議の実施を公表〔コメント期限：3 月 30 日〕
	3 月 5 日	ARRC が、第 2 次報告書を公表 — SOFR 特定の経緯、移行計画の概要、キャッシュ商品のフォールバック・移行に関する課題等について言及
	3 月 7 日	再編された ARRC が始動 — メンバーシップを拡充。既存分を含む 11 のサブグループのメンバーが確定
	4 月 3 日	NYFed が、SOFR 公表開始
	5 月 7 日	CME が、SOFR の 1 か月および 3 か月先物を上場
	7 月 9 日	ARRC が、キャッシュ商品のフォールバック条項が満たすべき原則を公表
	7 月 12 日	ARRC が、米国金融当局宛に、代替指標を参照するデリバティブ契約について追加的な規制を課さないよう協力を求めるレターを発出
	7 月 16 日	LCH が、SOFR 参照 OIS の清算を開始
	7 月 19 日	ARRC が、ラウンドテーブルを開催
	7 月 24 日	ARRC 会合 — 市中協議実施に向け、変動利付債とシ・ローンに係るフォールバック条項の文言等について議論
	7 月 26 日	ファニーメイが、SOFR を参照する 6 か月、12 か月、18 か月の変動利付債を発行
	8 月 29 日	FASB 理事会が、ヘッジ会計目的のベンチマーク金利として SOFR に基づく OIS 金利を追加することを暫定的に決定
	9 月 20 日	ARRC 会合

		— 市中協議、SOFR の利用促進等について議論
	9 月 24 日	ARRC が、変動利付債とシ・ローンに係るフォールバック条項の文言についての市中協議文書を公表〔コメント期限：11 月 26 日〕 — 今後他の商品（証券化商品、相対ローン、消費者向け商品）についても同様の市中協議を実施予定である旨付言
	10 月 9 日	CME が、SOFR 参照 OIS の清算を開始 — SOFR を PAI の算出・割引率に使用
	10 月 18 日	ARRC 会合 — 相対ローンおよび証券化商品に係る市中協議発出に向けた進捗、SOFR の流動性向上に係る進捗等について議論
	10 月 25 日	FASB が、SOFR に基づく OIS 金利をヘッジ会計目的のベンチマークとして追加する旨の会計基準のアップデート（ASU No. 2018-16）を公表 — 適用開始日は、①2018 年 12 月 15 日以降の会計年度（ヘッジ会計に係る ASU No. 2017-12 対応済みの上場企業の場合）、②2019 年 12 月 15 日以降の会計年度（それ以外の ASU No. 2017-12 対応済みの企業・団体の場合）
	10 月 29 日	ARRC が、変動利付債のフォールバック条項の文言にかかる市中協議の FAQ を公表
	10 月 30 日	ARRC が、米ドル LIBOR からの移行に関するタイムラインを公表
	12 月 5 日	ARRC 会合 — 変動利付債およびシ・ローンに関する市中協議の回答結果のほか、公表予定の相対ローンおよび証券化商品の市中協議や既存キャッシュ商品に対する法的救済措置に向けた検討要否等について議論
	12 月 7 日	・ ARRC が、相対ローンおよび証券化商品に係るフォールバック条項の文言についての市中協議文書を公表〔コメント期限：2 月 5 日〕 ・ ARRC が、変動利付債とシ・ローンに係るフォールバック条項の文言についての市中協議文書に寄せられた回答を公表
2019 年	1 月 15 日	ARRC 会合 — SOFR デリバティブ・先物市場の現状、ターム物金利構築に係る課題等について議論
	1 月 24 日	IBA が、米ドル LIBOR に代わるキャッシュ商品向けの新たな指標案（U.S. Dollar ICE Bank Yield Index）に係る市中協議を公表〔コメント期限：3 月 31 日〕
	2 月 28 日	ARRC 会合 — キャッシュ商品での SOFR 利用の概要とレビュー、フォールバック条項の文言の検討に係る進捗状況等について議論
	4 月 8 日	ARRC が、財務省・内国歳入庁宛に、RFR への移行・フォールバックに係る税制上の対応について、レターを発出
	4 月 10 日	IBA が、U.S. Dollar ICE Bank Yield Index の詳細（ホワイトペーパー）をアップデートし、市中協議期限を延長〔コメント期限：5 月 31 日〕
	4 月 11 日	ARRC 会合 — ICE Bank Yield Index、変動利付債およびシ・ローンのフォールバック条項等について議論

4 月 19 日	FRB のエコノミストの試算として、SOFR を参照する先物に基づくターム物金利および SOFR の後決め複利平均の参考値を公表
4 月 22 日	ARRC が、SOFR の利用者ガイドを公表
4 月 24 日	CME が、2020 年の下半期を目途に、既存・新規のスワップ取引の PAI の算出・割引率に使用する金利を一斉に EFR から SOFR に切り替える「ビッグバン」アプローチについて討議文書を公表
4 月 25 日	ARRC が、変動利付債およびシ・ローンのフォールバック条項に係る最終的な推奨文言を公表
4 月 29 日	ARRC が、SOFR の公表開始 1 周年を記念して、SOFR 参照市場の流動性向上や SOFR への移行に向けた進捗についてまとめた文書を公表
4 月 30 日	ジニーメイが、不動産抵当証券担保債券中の SOFR を参照する変動金利トランシェに保証を提供したことを発表
5 月 13 日	ARRC が、米国金融当局宛に、代替指標を参照するデリバティブ契約に係る法的救済等を要望する追加的なレターを発出— 規制の明確化・緩和が図られる際には幅広い移行方法をサポートすることを求めるとともに、RFR 参照契約で清算集中義務の対象とならないものについては新規分も含め当初証拠金規制の適用除外とすることを要望
5 月 16 日	ARRC 会合 — 相対貸出および証券化商品のフォールバック条項等について議論
5 月 31 日	ARRC が、相対貸出および証券化商品のフォールバック条項に係る最終的な推奨文言を公表
6 月 3 日	ARRC が、ラウンドテーブルを開催 — FRB のクォールズ副議長が、FRB および CFTC 等の規制当局が、清算集中義務の対象とならない既存のデリバティブ契約について、証拠金規制の適用除外を認める内容の規制改正を含む市中協議文書を作成している旨言及
6 月 6 日	・ ARRC が、移行計画の補完として、2019 年の作業目標を公表 ・ ARRC が、4 月 8 日に財務省・内国歳入庁宛に発出したレターのフォローアップとして、具体的なガイダンスの文案を公表
6 月 19 日	FASB が、一定要件を充足する貸出・債券・リース等の契約について、参照金利が変更された場合も従来の契約が継続するものとして扱う旨の救済措置を暫定決定
6 月 24 日	ARRC が、通貨スワップ市場におけるディーラー間の取引慣行（コンベンション）に関する暫定的な勧告を公表 — IBOR が公表停止される事態に備え、リスクフリーレート（RFR）を参照する通貨スワップ市場の取引慣行を確立し、流動性を確保することを目的とするもの
6 月 28 日	ARRC が、ベンダーを対象としたワークショップを開催
7 月 10 日	IBA が、U. S. Dollar ICE Bank Yield Index のホワイトペーパーの 2 回目のアップデートを公表
7 月 11 日	ARRC が、SOFR 参照住宅ローンに関するホワイトペーパーを公表
7 月 12 日	米証券取引委員会（SEC）が、LIBOR からの移行の管理に関して 4 部署合同のスタッフ・ペーパーを公表し、各部署の観点から具体的な論点のガイダンスを提示

	ARRC が、LIBOR 参照住宅ローンのフォールバック条項に係る市中協議を開始
7 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ NY 連銀ウィリアムズ総裁スピーチ <ul style="list-style-type: none"> — ターム物 RFR の構築を待たず LIBOR からの移行に即座に取り組むよう懇願 ・ CME が 2020 年 7 月 17 日に、金利スワップに使用するディスカウント・レートを現行の実効フェデラル・ファンド金利（EFFR）から SOFR に移行することを発表
7 月	FASB が、ヘッジ会計上の論点について議論
8 月 1 日	ARRC が、SOFR 参照の変動利付債の市場慣行に関する比較表を公表
9 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ARRC 会合 <ul style="list-style-type: none"> — キャッシュ商品のフォールバック時のスプレッド調整の算出方法について評価 ・ FASB が、LIBOR からの移行にかかる会計基準のアップデート（ASU）案を公表 [コメント期限：10 月 7 日]
9 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ SEC クレイトン委員長スピーチ <ul style="list-style-type: none"> — フォールバック条項の導入または他の指標への切替により早期に LIBOR からの移行に取り組むよう懇願 ・ ARRC が、7 月に公表した LIBOR 参照住宅ローンのフォールバック条項に係る市中協議の期限を 9 月 24 日まで延期
9 月 19 日	ARRC が、SOFR への移行対応に係る実務上のチェックリストを公表
9 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> NY 連銀ウィリアムズ総裁スピーチ <ul style="list-style-type: none"> — 期限が時々刻々と迫っているため、不断の取り組みが重要である旨を強調
9 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> 連邦住宅金融局（FHFA）が連邦住宅貸付銀行（FHLB）に対する監督上のレターを発出 <ul style="list-style-type: none"> — 2020 年 3 月末までに、2021 年末以降に満期を迎える LIBOR 参照の新規取引停止を勧告
10 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ARRC の 4 月 8 日付レターを受け、財務省および内国歳入庁が Tax Relief 案を公表 [コメント期限：11 月 25 日] <ul style="list-style-type: none"> — ARRC は、規制案の公表を歓迎する旨を発表
10 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ARRC 会合 <ul style="list-style-type: none"> — IOSCO 原則を遵守したターム物 SOFR を構築するための条件についてプレゼンを実施 ・ CME が、金利スワップに使用するディスカウント・レートの SOFR への移行を 2020 年 7 月から 10 月に延期
10 月 23 日	IBA が ICE Bank Yield Index に関するホワイトペーパーにつき 3 回目のアップデート版を公表
11 月 4 日	NY 連銀が、米財務省金融調査局と共同で、SOFR 平均値（後決め複利）および SOFR インデックスの公表に関する市中協議を開始
11 月 13 日	FASB が、LIBOR からの移行にかかる会計基準のアップデート（ASU）の最終化を承認
11 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ARRC 会合 <ul style="list-style-type: none"> — レガシー契約にかかる NY 州における立法措置について議論 ・ ARRC が、変動金利型住宅ローンのフォールバック条項の推奨文言、およびこれまでに公表した 5 つの商品（変動金利型住宅ローン、相対貸出、変動利付債、証券化商品、シンジケート・ローン）にかかる推奨文言にかかるサマリーを公表

		・ファニーメイおよびフレディーマックが、2020 年 1Q に ARRC が推奨するフォールバック条項の推奨文言を反映した変動金利型 MBS (ARM) の統一証書を公表する旨を発表
	11 月 21 日	ARRC が、SOFR を参照する変動利付債の取引慣行の一覧表の別表を公表
	11 月	FRB が、監督・規制に関する報告書において、LIBOR からの移行に向けた準備状況を監督上の優先課題として追加
	12 月 3 日	ARRC 会合 — ISDA 定義集における公表停止前トリガーの扱いや、ドル LIBOR からの円滑な移行を確保する上で重要なシステムの特定状況等について議論
	12 月 9 日	米通貨監督庁 (OCC) が、半期報告書において、LIBOR からの移行に向けた準備状況に関する点検を強化する旨に言及
	12 月 23 日	ニューヨーク州金融サービス局 (NY DFS) が、監督先金融機関に対して Dear CEO レターを発出
2020 年	1 月 8 日	SEC が、LIBOR からの移行に向けた準備状況や開示の状況を 2020 年の検査優先事項として記載
	1 月 21 日	ARRC が、キャッシュ商品のフォールバックにかかるスプレッド調整に関する市中協議を開始 (コメント期限: 3 月 6 日 (当初)、3 月 25 日 (延長後))
	1 月 22 日	ARRC 会合 — (英国 WG が 1 月 16 日に公表した優先取り組み課題を念頭に) 米ドル LIBOR から SOFR への移行を促進するための具体的な勧告やタイムラインの策定余地について、議長から問題提起
	1 月 24 日	ARRC 傘下の通貨スワップに関するサブグループが、通貨スワップ市場におけるディーラー間の取引慣行に関する勧告を公表
	1 月 31 日	ARRC が、ベンダー向けの移行対応状況にかかる調査を開始するとともに、機関投資家向けの SOFR への移行に向けたチェックリストを公表
	2 月 5 日	米連邦住宅金融局が、ファニーメイおよびフレディーマックによる LIBOR 参照の変動金利型住宅ローンの買取を 2020 年末で停止すると発表
	2 月 7 日	ARRC が、清算機関のディスカウント・レートが SOFR に移行することにより影響を受けるスワップションに関する市中協議を開始
	3 月 2 日	NYFed が、SOFR 平均値 (後決め複利) を用いたターム物金利 (30、90、180 日物) および SOFR Index を公表開始
	3 月 6 日	ARRC が、米ドル LIBOR 参照のレガシー契約の取扱いにかかるニューヨーク州での立法化に向けた提案書を公表
	3 月 12 日	FASB が、会計基準のアップデート (ASU) の最終版を公表
	3 月 27 日	ARRC が、学生ローンのフォールバック条項に関する市中協議を開始 (コメント期限: 5 月 15 日 (当初)、延長後: 5 月 29 日、再延長後: 6 月 15 日)
	3 月 30 日	ARRC 会合 — ARRC の 2020 年の取り組み課題やベストプラクティス作成に向けた取り組みについて議論
	4 月 1 日	Fannie Mae と Freddie Mac が、SOFR 参照の変動金利型住宅ローン (ARM) の買取開始時期および買取条件の詳細を公表 — いずれも、Fed NY が公表する SOFR Averages の 30 日物を参照し、Fannie Mae は本年 8 月 3 日から、Freddie Mac は 11 月

	16日から買取を開始
4月2日	政府会計基準審議会（GASB）が、LIBORからの移行に関するガイダンスを公表
4月8日	ARRCがキャッシュ商品のフォールバック時のスプレッド調整にかかる暫定的な推奨内容を公表 — 過去5年のスプレッド中央値を推奨
4月17日	ARRCが、2020年の取り組み課題を公表 — forward-lookingなターム物SOFRの運営機関の選定に向けた取り組み（2020年9月まで） — SOFR参照の変動利付債、法人向け貸出、証券化商品にかかる推奨コンベンションの最終化（2020年7月まで） — 清算機関におけるPAIおよびディスカウント・レートの切り替え促進（進行中） — 各業界における事務・インフラ整備促進のためのツールの整備（進行中） — ARRCの推奨内容に沿った調整スプレッド値の公表主体の選定に向けた取り組み（2020年9月まで） — 法人向け貸出についての、修正版ハードワイヤードアプローチのフォールバック文言、コンベンション、参考資料の公表（2020年6月まで） — 学生ローン向けの推奨フォールバック文言の公表（2020年6月まで） — リテール向けのガイドラインの作成（2020年9月まで） — （NY州法における）立法措置の導入に向けた取り組み（継続中） — 税・規制・会計にかかる関係機関との協働（継続中） — 広汎かつ包括的なアウトリーチ活動の推進（継続中）
5月6日	・ARRCが、キャッシュ商品のフォールバックにかかるスプレッド調整に関する追加的な市中協議を開始（コメント期限：6月8日（当初）、延長後：6月15日） ・ARRCが、SOFR Indexの変動利付債への適用方法にかかるステートメントを公表
5月7日	ARRCが、ベンダー向けサーベイの結果および対応期限にかかるベスト・プラクティスを公表
5月14日	ARRCが、清算機関のディスカウント・レートがEFFRからSOFRに移行することにより影響を受けるスワップションについて、取引当事者間で時価変更分にかかる任意調整を行うべきとの勧告を公表
5月22日	米財務省が、SOFR連動債の需要等の調査のため、RFI（Request For Information）を発出（コメント期限：7月6日）
5月27日	ARRCが、LIBORからの移行計画にかかるベストプラクティスを公表 — 変動利付債、企業向け貸出、個人向けローン、証券化商品、デリバティブについて、市場参加者が達成すべきマイルストーンを設定 — 米ドルLIBORの新規参照の停止目標時期（マイルストーン）については、以下のとおり設定 ・住宅ローン（本年9月末） ・変動利付債（本年12月末）

	<ul style="list-style-type: none"> ・企業向け貸出、CLO 以外の証券化商品、デリバティブ（2021 年 6 月末） ・CLO（2021 年 9 月末）
6 月 4 日	米消費者金融保護局が、消費者および規制対象主体の LIBOR からの移行を促すため、消費者向けハンドブック、規則制定案（NPRM: Notice of Proposed Rulemaking）等を公表
6 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ARRC が、学生ローン向けの推奨フォールバック文言を公表 ・ARRC が、シンジケート・ローン向けのハードワイヤードアプローチの推奨フォールバック文言の修正版を公表 ・ARRC が、キャッシュ商品のフォールバックにかかるスプレッド調整に関する追加情報を公表
7 月 8 日	ARRC が、社内システム・事務プロセスの移行を支援するための手引を公表
8 月 5 日	ARRC 会合
8 月 7 日	ARRC が、SOFR Starter Kit を公表
8 月 10 日	ARRC の Wipf 議長が、ARRC 全メンバーに対して ISDA プロトコル批准に向けて準備するよう強く要請するレターを発出
8 月 19 日	ARRC が、LIBOR からの移行計画にかかるベストプラクティスを改訂 <ul style="list-style-type: none"> — ISDA 定義集及びプロトコルについて、施行までに批准することを推奨（タイムスケジュールを明記）、デリバティブのエクスポージャーが大きい場合、エスクロー方式での批准の推奨を明記
8 月 27 日	ARRC が、相対貸出のフォールバック条項に係る推奨文言の改訂版を公表 <ul style="list-style-type: none"> — ハードワイヤードアプローチによるフォールバック条項について、ウォーターフォールの第 2 順位に単純 SOFR（複利計算なしの日次平均）を採用 — ヘッジローン向けのフォールバック条項について、フロアの取扱いを追加
9 月 2 日	ARRC が、フォールバック時の LIBOR と後継金利のスプレッド調整値の算出・公表主体選定にかかる要件定義書（RFP）を公表
9 月 9 日	ARRC 会合
9 月 10 日	ARRC が、forward-looking なターム物 SOFR 公表に向けた公表主体の選定にかかる要件定義書（RFP）を公表
9 月 11 日	ARRC が、清算機関のディスカウント・レートが EFFR から SOFR に移行することにより影響を受けるスワップションについて、取引当事者間で時価変更分にかかる任意調整を行うべきとの勧告の追加事項を公表
10 月 9 日	ARRC が、ISDA IBOR プロトコルへの支持と批准の推奨を改めて公表。FRB が、プロトコル批准を促す Supervision and Regulation Letter (SR Letter) 20-22 を発出
10 月 16 日	LCH および CME が、既存・新規スワップ取引に係る PAI の算出・ディスカウント・レートに使用する金利を EFFR から SOFR に切替え
10 月 28 日	米ドル LIBOR を参照する金融商品に関する法的措置について NY 州議会に法案を提出
11 月 18 日	NY 連銀が、Credit Sensitivity Group Additional Working Session 1 を開催
11 月 25 日	ARRC が、相対貸出における後決め SOFR の推奨コンベンションを公表

	11月30日	Fed、米通貨監督庁（OCC）、連邦預金保険公社（FDIC）が、LIBOR 移行にかかるステートメントを公表
	11月30日	ARRC が、米ドル LIBOR からの移行に関する IBA・英米当局からのアナウンスメントを称賛（applaud）する旨のリリースを公表
	12月4日	ARRC が、米ドル LIBOR の公表停止にかかるガイドを公表
	12月10日	NY 連銀 Wuerffel 副総裁スピーチ — 2021 年入り後の LIBOR 参照の新規取引の早期停止を懇願
2021 年	1月13日	ARRC 会合
	1月14日	NY 連銀が、Credit Sensitivity Group Additional Working Session 2 を開催
	1月28日	ARRC の Wipf 議長が、Bloomberg に論評を寄稿
	1月29日	ARRC が、非金融機関をサポートするための SOFR ベースの企業間貸出にかかるコンベンションを公表
	2月17日	ARRC 会合
	3月5日	ARRC が、FCA および IBA による LIBOR 公表停止日に関するアナウンスメントを称賛（commend）する旨のリリースを公表
	3月8日	ARRC が、FCA および IBA によるアナウンスメントをふまえたフォールバック条項上の“Benchmark Transition Event”に関して公表
	3月9日	FRB が、レター（SR 21-7）を発出
	3月17日	ARRC が、ARRC 推奨の LIBOR と後継金利のスプレッド調整値の算出・公表主体として Refinitiv を選定
	3月18日	ARRC 会合
	3月22日	・ ARRC が、シンポジウム“The SOFR Symposium: The Final Year”を公表 ・ ARRC が、“Progress Report: The Transition from U.S. Dollar LIBOR”を公表
	3月23日	ARRC が、フォワードルッキングなターム物 SOFR を 2021 年央までに推奨するとのポジションをとらないことを公表
	3月24日	・ ARRC が、LIBOR 法案の NY 州議会通過を歓迎する旨について公表 ・ ARRC が、USD LIBOR ICE Swap Rate（ISR）からスプレッド調整後の SOFR ベースのスワップレートへのフォールバックに係る計算式のホワイトペーパーを公表
	3月25日	ARRC が、Business Loans（シ・ローンと相対貸出）のハードワイヤード・アプローチのフォールバック条項の Supplemental Recommendations を公表
	3月29日	ARRC が、ABS（非 CLO の ABS、MBS、CMBS）の新規発行において、SOFR を利用する際のアウトラインを示したホワイトペーパーを公表
	4月7日	ARRC が、LIBOR 法案へのクオモ NY 知事署名を支持する旨について公表
	4月12日	CME が、LIBOR を参照する金利スワップについて標準 OIS への転換に係る方針ペーパーを公表
	4月15日	Mark Van Der Weide・FRB General Counsel が、米国下院金融サービス委員会投資家保護・起業家精神・資本市場小委員会で証言

4月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ARRCが、フォワードルッキングなターム物SOFRを推奨するための主要原則を公表 ・CMEが、フォワードルッキングなターム物SOFRの提供を開始
5月6日	ARRCが、フォワードルッキングなターム物SOFRの推奨に資する市場指標の特定について公表
5月11日	ARRCが、市場参加者向けの、SOFR Averagesの利用方法や利用にあたって考慮すべき事項の情報提供を目的としたガイドを公表
5月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・AFXが、Ameriborの90日のテナーを公表 ・ARRC会合
5月21日	ARRCが、フォワードルッキングなターム物SOFRの算出運営機関としてCMEを選定
6月8日	<p>CFTC傘下の市場リスク諮問委員会（MRAC）の金利指標改革小委員会が、「ディーラー間金利スワップでの気配値コンベンションを米ドルLIBORからSOFRへ切り替える日を7月26日、米ドルLIBOR参照の線形デリバティブのディーラー間ブローカースクリーンの配信（情報提供目的）を10月22日までとすること（SOFRファースト）」を推奨</p> <p>— 6月24日のフォローアップミーティングで、SOFRファースト対象商品を「通貨スワップ」、「非線形デリバティブ」、「上場デリバティブ」に拡大。「通貨スワップ」については、米ドル・日本円・英ポンド・瑞フランに関して、LIBORからRFRへ切り替える日を9月21日とすることを推奨</p>
6月17日	ARRC会合
7月13日	CFTC傘下の市場リスク諮問委員会（MRAC）がSOFRファーストの推奨を採択
7月14日	ARRC会合
7月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ARRCが、フォワードルッキングなターム物SOFRの「use case」に係るベストプラクティスおよびターム物SOFR・前決めSOFRの「ビジネスローンにおけるコンベンション」を公表 ・ARRCが、通貨スワップ市場において米ドルLIBORからRFRへ切り替える日を9月21日とするCFTC傘下の市場リスク諮問委員会（MRAC）の推奨を支持
7月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・ARRCが、フォワードルッキングなターム物SOFRを正式に推奨 ・米ドルLIBORを参照する契約のうち、頑健なフォールバック条項が盛り込まれていない契約を対象として、契約上の参照金利（米ドルLIBOR）を後継金利に変更するための連邦法の改正案について、米国下院金融サービス委員会が承認
8月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・ARRCが、Refinitivによる米ドルLIBOR参照キャッシュ商品のフォールバック・レートの参考値公表（同日：8月11日）を歓迎する旨のステートメントを公表 ・ARRC会合
8月27日	ARRCが、フォワードルッキングなターム物SOFRの「use case」に係るベストプラクティスの推奨に関して、FAQを公表
9月8日	ARRC会合

9月10日	ARRC が、シンポジウム“The SOFR Symposium: The Final Year”の第5回を9月20日に実施する旨を公表
10月5日	FRB クオールズ副議長スピーチ — 米ドル LIBOR の新規取引停止期限（2021 年末）が迫る中で、移行対応を加速させるよう改めて強調
10月13日	ARRC 会合
10月14日	ARRC が、2021 年末に向けて、米ドル LIBOR の新規取引の抑制を求めるステートメントを公表
10月15日	CFTC 傘下の市場リスク諮問委員会（MRAC）の金利指標改革小委員会が、SOFR ファーストのもとで、ディーラー間の非線形デリバティブ取引について、米ドル LIBOR から SOFR へ切り替える日を11月8日とすることを決定した旨を公表
10月19日	ARRC が、シンポジウム“The SOFR Symposium: The Final Year”の第6回を10月26日に実施する旨を公表
10月20日	FRB 他5当局が、監督対象機関に対して、LIBOR 移行を継続的に進めることへの期待を強調する LIBOR 移行マネジメントに関するステートメントを公表 — 米ドル LIBOR の新規取引停止期限である本年末以後に LIBOR 参照契約を締結することは、係争リスク、オペリスクを含む安全性・健全性リスクを生むことを指摘（新規取引には、追加的なエクスポージャーに加え、既存契約の期間延長が含まれる一方、コミライン等は除かれる） — 本年末以前に締結した契約についても、頑健なフォールバック条項を導入すべきことを言及
11月17日	ARRC 会合
11月30日	・ Refinitiv が、事業法人向けの米ドル LIBOR 参照キャッシュ商品におけるフォールバック・レートの確定値を公表開始 — 消費者向けの米ドル LIBOR 参照キャッシュ商品におけるフォールバック・レートの確定値は、2022 年 1 月 3 日付での公表開始を予定 ・ ARRC が、Refinitiv による、上記フォールバック・レート公表を歓迎する旨のステートメントを公表
12月2日	CFTC 傘下の市場リスク諮問委員会（MRAC）の金利指標改革小委員会が、「通貨スワップ」における SOFR ファーストの対象を、変動金利として米ドル LIBOR を参照する全ての取引に拡大し、米ドル LIBOR から SOFR へ切り替える期日を12月13日とすることを推奨
12月3日	・ ARRC が、ニューヨーク州およびアラバマ州の LIBOR に係る法令（State LIBOR Legislation）にもとづく関連推奨機関として、米ドル LIBOR の一部テナー（1 週間物および2か月物）について、フォールバックの法定推奨レートを指定 ・ CME が、瑞フラン LIBOR および日本円 LIBOR を参照する金利スワップについて、OIS への一括変換を実施
12月7日	米証券取引委員会（SEC）が、ブローカーやディーラー、投資顧問が LIBOR 参照証券を顧客に勧める際の義務や、企業や債券の発行体の LIBOR 移行に関する開示義務等について、注意喚起を行うステートメントを公表
12月8日	米ドル LIBOR を参照する契約のうち、頑健なフォールバック条項が盛り込まれていない契約を対象として、契約上の参照金利（米ドル LIBOR）を後継金利に変更するための連邦法の改正案を、米国下院が承認
12月16日	・ CFTC 傘下の市場リスク諮問委員会（MRAC）の金利指標改革小委員会が、「上場デリバティブ」の米ドル LIBOR から SOFR への移

		<p>行に関するユーザーガイドを公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ARRC が、米ドル LIBOR の移行状況に関する進捗報告書 (Year-End Progress Report: The Transition from U.S. Dollar LIBOR) を公表 <ul style="list-style-type: none"> — デリバティブ、消費者向けローン、変動利付債を中心に、全体として、移行は順調に進捗しているとの認識が示された — ビジネスローンおよび証券化商品においても、SOFR ベースの取引に向けた勢いが加速していると指摘 — 2022 年における重要な論点として、先物市場における SOFR への移行、SOFR を参照する貸出市場や証券化商品市場の更なる進展、レガシー契約にかかる連邦法レベルでの法改正の進展、を指摘 ・ ARRC 会合
	12 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ FSOC が、“2021 Annual Report”において、LIBOR 移行対応におけるリスクおよび市場参加者・金融規制当局に対する勧告事項を公表 <ul style="list-style-type: none"> — LIBOR 移行対応におけるリスクとして、選択された代替金利指標の頑健性、LIBOR 参照エクスポージャーの増加、頑健なフォールバック条項の欠如を指摘 — 市場参加者に対して、頑健かつ持続可能な代替金利指標への移行に向けた対応を早急に行うよう勧告 — 金融規制当局に対して、市場参加者が LIBOR エクスポージャーの移行対応を進める上で、規制緩和が必要か判断すること、金融機関の LIBOR 移行状況を把握するために必要な監督権限を行使すること、を勧告 ・ CME が、英ポンド LIBOR を参照する金利スワップについて、OIS への一括変換を実施
	年末	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米ドルの一部テナーを除き、パネル LIBOR が公表停止 ・ 米ドル LIBOR を参照する新規取引の停止期限
2022 年	1 月 3 日	Refinitiv が、消費者向けの米ドル LIBOR 参照キャッシュ商品におけるフォールバック・レートの確定値を公表開始
	1 月 10 日	<p>ARRC 会合</p> <ul style="list-style-type: none"> — デリバティブ取引やキャッシュ商品における、米ドル LIBOR から SOFR への円滑な移行が確認された一方、先物市場については、複数のメンバーから、移行促進に向けた更なる取り組みが必要であるとの指摘がなされた
	2 月 3 日	<p>ARRC の Wipf 議長が、Barron's に論評を寄稿</p> <ul style="list-style-type: none"> — 米ドル LIBOR から SOFR への移行の進展や、タフレガシー契約に係る連邦法・州法での立法措置の検討状況を紹介 — ARRC が、2022 年も引き続き LIBOR からの移行に向けた取り組みを支援することに言及

【国際的な取組み】

2013 年	7 月 17 日	IOSCO（証券監督者国際機構）が、「金融指標に関する原則」（IOSCO 原則）を公表
2014 年	7 月 22 日	FSB が、「主要な金利指標の改革」と題する報告書を公表
2017 年	10 月 10 日	FSB が、金利指標改革に関する第 3 次進捗報告書を公表
2018 年	1 月 5 日	IOSCO が、指標利用者へのステートメントを公表
	2 月 1 日	ISDA、AFME、ICMA、SIFMA、SIFMA AMG が、グローバルな RFR への移行に関するロードマップ報告書を公表
	6 月 25 日	ISDA、AFME、ICMA、SIFMA、SIFMA AMG が、RFR への移行に関するサーベイ結果を公表
	7 月 12 日	・ ISDA が、IBOR フォールバック時における技術的な対応方針に関する市中協議を公表〔コメント期限：10 月 22 日〕 ・ FSB が、RFR と RFR ベースのターム物金利構築の重要性に関するステートメントを公表
	10 月 10 日	IBA が、主要通貨の RFR について公表開始
	11 月 14 日	FSB が、金利指標改革に関する第 4 次進捗報告書を公表
	12 月 12 日	IASB が、金利指標改革が財務報告に与える影響に関して調査した結果を踏まえ、①基準設定作業に進むこと、および、②今後の動向を踏まえて速やかに理事会が対応できるよう、課題の分析作業の優先順位付けをすることを決定
	12 月 20 日	ISDA が、IBOR フォールバック時における技術的な対応方針に関する市中協議の結果を公表 — タームの調整方法については、圧倒的多数が後決め複利を支持。スプレッドの調整については、大多数が過去の平均値・中央値アプローチを支持
2019 年	2 月 8 日	IASB が、IBOR 関連改革に伴う不確実性による影響を緩和するため、IFRS 9 および IAS39 号のヘッジ会計に関するフォワードルッキングな要件を緩和する方針を暫定決定
	3 月 5 日	BCBS および IOSCO が、専ら金利指標改革の目的を充足するために行われる既存のデリバティブ契約の改定については、非清算店頭デリバティブ取引に係る証拠金規制の枠組みの適用を求められない旨の声明を発表
	3 月 12 日	FSB・OSSG が、ISDA 宛に、IBOR フォールバックに係る公表停止前トリガーの重要性等を指摘するレターを発出
	5 月 3 日	IASB が、代替金利指標への置換えの前の段階でヘッジ会計に影響を与える問題（フェーズ 1）に対応した IFRS 9 および IAS39 号の改訂基準の公開草案を公表〔コメント期限：6 月 17 日〕
	5 月 16 日	・ ISDA が、米ドル LIBOR 等のフォールバック時の調整に関する追加的市中協議を公表〔コメント期限：7 月 12 日〕 ・ ISDA が、公表停止前トリガー等について市中協議を公表〔コメント期限：7 月 12 日〕
	6 月 4 日	FSB が、キャッシュ商品における RFR の利用に関して、ユーザーガイドを公表
	7 月 30 日	ISDA が、米ドル LIBOR 等のフォールバック時の調整に関する追加的市中協議の暫定的取り纏め結果を公表

	7月31日	ISDA が、Bloomberg Index Services Limited をフォールバック時における調整の算出・公表ベンダーに選定
	8月9日	ISDA が、公表停止前トリガーに関する市中協議の暫定的取り纏め結果を公表
	9月18日	・米ドル LIBOR 等のフォールバック時の調整に関する追加的市中協議の取り纏め結果を公表 ・ISDA が、IBOR フォールバック時の最終的なパラメータ調整に関する市中協議を公表〔コメント期限：10月23日〕
	9月26日	IASB が、代替金利指標への置換えの事前の段階で会計報告に影響を与える問題（フェーズ1）に対応した IFRS 9 および IAS39 号の改訂基準を最終化
	10月21日	ISDA が公表停止前トリガーに関する取り纏め結果を公表 — コンセンサスが得られなかったため、今後の対応方針について、市場参加者や OSSG と引き続き議論を行っていくとの内容
	11月15日	・FSB・OSSG が、ISDA 宛に公表停止前トリガーを恒久的停止トリガーと同時に導入することの重要性等を指摘するレターを発出 ・ISDA が、IBOR フォールバック時の最終的なパラメータ調整に関する市中協議結果を公表
	12月4日	ISDA が、OSSG に対し、レターを返信 — 指標性喪失後の LIBOR の公表継続期間や、CCP の対応について明確化を要求
	12月18日	・ISDA がユーロ LIBOR および EURIBOR のフォールバック時の調整に関する市中協議を公表 ・FSB・OSSG が、金利指標改革に関する FSB 第五次進捗報告書を公表
2020 年	1月30日	IASB が、代替金利指標への置換時に会計報告に影響を与える問題（フェーズ2）について議論
	2月5日	ISDA が、公表停止前トリガーに関する市中協議を再度実施する旨を公表
	2月25日	ISDA が、恒久的停止トリガーおよび公表停止前トリガーにかかる新たな市中協議を公表（コメント期限：3月25日（当初）、4月1日（延長後））
	3月5日	ISDA がユーロ LIBOR および EURIBOR のフォールバック時の調整に関する市中協議結果を公表
	4月9日	IASB が、フェーズ2にかかる公開草案を公表（コメント期限：5月25日）
	4月16日	ISDA が、公表停止前トリガーにかかる市中協議の暫定結果を公表 — 回答者の大多数が、LIBOR について、改訂版 ISDA 定義集およびプロトコルに恒久的公表停止トリガーと公表停止前トリガーを同時に設定することに賛同
	5月14日	ISDA が、恒久的停止トリガーおよび公表停止前トリガーにかかる新たな市中協議の結果を公表 — 回答者の大多数が、LIBOR について、公表停止前トリガーと恒久的公表停止トリガーを、ISDA 定義集の改訂版およびプロトコルに一律に導入することに賛同
	7月1日	FSB が、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）がグローバルな金利指標にもたらす影響に関するステートメント」を公表 — コロナ禍においても、引き続き、「2021 年末までに LIBOR への依存から脱却すべき」との見解を維持する旨を強調
	7月9日	FSB およびバーゼル委が、代替金利指標への移行に向けた監督上の論点に関する G20 宛ての報告書を公表

	7月21日	Bloomberg Index Services Limited が、フォールバック・レートおよびスプレッド調整の公表を開始
	8月27日	IASB が、フェーズ2に対応した IFRS 第9号、IAS 第39号、IFRS 第7号、IFRS 第4号、IFRS 第16号の改訂基準を最終化
	10月9日	ISDA が、プロトコル等（①2006年版 ISDA 定義集を改訂するための IBOR フォールバック・サプルメント、および②その効力発生前に締結された契約にも定義集改訂を導入するための IBOR フォールバック・プロトコル）について、10月23日に批准を開始し、2021年1月25日に発効する旨を公表
	10月9日	FSB が、ISDA プロトコルへの広範かつ早期の批准を推奨するとのプレス・リリースを公表
	10月16日	FSB が、「LIBOR のグローバルな移行に関するロードマップ」を公表
	10月23日	ISDA が、プロトコル等への批准を開始
	11月20日	FSB・OSSG が、金利指標改革に関する FSB 第六次進捗報告書を公表
2021 年	1月25日	改訂版 ISDA 定義集およびプロトコルが発効
	4月19日	Refinitiv が、東京スワップ・リファレンス・レート (TSR) に関する市中協議を公表（コメント期限：5月21日）
	4月22日	ISDA が、米ドル LIBOR からの移行の重要性に関するプレス・リリースを公表
	6月2日	FSB が、金利指標改革に関する文書として「LIBOR からの円滑かつタイムリーな移行に関するステートメント」、「キャッシュ商品における ISDA のスプレッド調整の利用を支持」、「金利指標改革：オーバーナイト物リスク・フリー・レート及びターム物レート」、「LIBOR のグローバルな移行に関するロードマップ」（アップデート）を公表
	6月2日	IOSCO が、LIBOR からの移行の重要性に関するステートメントを公表
	6月11日	ISDA が、ICE Swap Rate (ISR) のフォールバック条項に関する市中協議を公表（コメント期限：7月2日）
	7月6日	FSB が、「LIBOR 移行問題に関する G20 への進捗報告書：最近の動向、監督上の問題及び次のステップ」を公表 — 市場参加者に対して、LIBOR 移行のための取り組みを強く促す内容
	7月10日	G20 が、FSB の進捗報告書を歓迎し、2021年末までに LIBOR 指標から適切に頑健な代替指標に円滑に移行することの重要性を再確認する声明を公表
	7月19日	Refinitiv が、東京スワップ・リファレンス・レート (TSR) に関する市中協議結果を公表
	7月23日	ISDA が、ICE Swap Rate (ISR) のフォールバック条項に関する市中協議結果を公表
	8月31日	ISDA が、FCA によるデリバティブ取引義務 (DT0) の改正に関する市中協議文書に対するコメントを公表
	9月8日	IOSCO が、Credit Sensitive Rate (CSR) の利用に対する懸念を示すステートメントを公表
	10月4日	ISDA による「2021年版 ISDA 定義集」が発効
	10月28日	Refinitiv が、TONA 参照の東京スワップ・リファレンス・レート (TSR) の公表を開始
	11月22日	FSB が、「LIBOR 公表停止に向けた準備を支援するためのステートメント」を公表 — 2021年末までに LIBOR の新規利用停止に向けた準備を完了する必要がある（米ドル LIBOR）

		<ul style="list-style-type: none"> — 主として最も頑健な金利指標であるオーバーナイト物リスク・フリー・レートへの移行を推奨する — 既存契約については積極的な移行対応を進めることが市場参加者にとって最善の方策である — 市場参加者は、FSB のグローバルな移行に関するロードマップで提示された残りのステップを完了するために早急に行動することが重要であり、世界および各国の金融当局は、進捗状況を注意深くモニタリングしている — FSB は、今後、LIBOR 移行の完了に向けた最終ステップのモニタリングを継続する
	12 月 10 日	Refinitiv が、東京スワップ・リファレンス・レート (TSR) を年内で公表停止し、2022 年 1 月 4 日以降に TSR のフォールバック・レート確定値の配信を開始する旨のリリースを公表
	12 月 16 日	ISDA が、フォールバック発動時に市場参加者が留意すべきリスクに関するステートメントを公表したほか、新たに 6 つの IBORs 通貨のフォールバック・サプPLEMENT等を公表

<リンク集>

【英国】

Sterling RFR WG	https://www.bankofengland.co.uk/markets/transition-to-sterling-risk-free-rates-from-libor
BOE	https://www.bankofengland.co.uk/
PRA	https://www.bankofengland.co.uk/prudential-regulation
FCA	https://www.fca.org.uk/ https://www.fca.org.uk/markets/libor
LCH	https://www.lch.com/home
LSE	https://www.londonstockexchange.com/home/homepage.htm
ICE	https://www.theice.com/index
IBA	https://www.theice.com/iba
EIB	http://www.eib.org/en/index.htm

【EU】

WG on euro RFR	https://www.ecb.europa.eu/paym/initiatives/interest_rate_benchmarks/WG_euro_risk-free_rates/html/index.en.html
ECB	https://www.ecb.europa.eu/home/html/index.en.html
欧州委	https://ec.europa.eu/commission/index_en
EMMI	https://www.emmi-benchmarks.eu/

【スイス】

NWG	https://www.snb.ch/en/ifor/finmkt/fnmkt_benchm/id/finmkt_reformrates
SNB	https://www.snb.ch/en/
FINMA	https://www.finma.ch/en/
SIX	https://www.six-group.com/exchanges/index_en.html
Eurex	http://www.eurexexchange.com/exchange-en/
Eurex Clearing	http://www.eurexclearing.com/clearing-en/

【米国】

ARRC	https://www.newyorkfed.org/arrc
NYFed	https://www.newyorkfed.org/
FRB	https://www.federalreserve.gov/default.htm
FASB	https://www.fasb.org/home
CME	https://www.cmegroup.com/
ファニーメイ	http://www.fanniemae.com/portal/index.html
ジニーメイ	https://www.ginniemae.gov/pages/default.aspx

【国際】

IOSCO	https://www.iosco.org/
BCBS	https://www.bis.org/bcbs/index.htm
FSB	http://www.fsb.org/ https://www.fsb.org/work-of-the-fsb/policy-development/additional-policy-areas/financial-benchmarks/
ISDA	https://www.isda.org/
IASB (IFRS)	https://www.ifrs.org/projects/